

町民みな芸術家

津奈木町文化展のお知らせ

津奈木町農業就業改善センターが完成し、すでに各種会合、研修が行なわれています。今後は文化の殿堂としても大いに利用していただくために、落成記念の文化展を開催することになりました。

町内に住者はもちろん、津奈木町に勤務する人、津奈木町出身者の作品を募集いたします。ふるって応募ください。



なるべく事前に申し出て下さい。連絡、問い合わせは、津奈木町教育委員会へ(電話3111)

な～るほど

* からがよくむけるゆで卵の煮方

ゆで卵を失敗するとカラがうまくむけなくなってしまう。これを防ぐには卵の丸い方の先端に牛乳の栓ぬきで小さな穴を開けておく。ゆでる時は湯に塩と酢を少量入れておいてゆでます。どちらの方法でもゆで上ったらすぐに水に入れて冷やすこと。



平国小学校校舎建設始まる

平国小学校建設委員会の役員の方々と先頭に、校区の皆さんの熱意と、地権者並びに墓地所有者各位の積極的な御協力により、その用地も滞りなく買収、昨年(昭和五十二年)梅雨明けを待って始められた平国小学校用地工事(工



費一億三千九百万円)も、請負業者「津奈木建設企業体(代表野崎氏)」の総力を挙げての努力によって、通学道路新設工事(二千三百七万円)校域外排水路築造工事(八百万円)と併せ、この程、工期中全くの無事故で完成、いよいよ校舎の新築工事が始まった。

校舎の新築工事は、本年七月三日、八代市の藤永組が一億九千六百八拾万円で落札し、直ちに着手した。校舎は来年三月完工の予定である。

平国は、学童は勿論、地元民一同、その日の一日も早く、このことを待望している今日此の頃である。

町民の方にお願ひ

歴史上の資料集めに
是非ご協力を!

今年の七月の大雨で、浜崎の松本武良さん宅裏の崖が崩れ、多数の貝殻にまじって、土器や石斧など沢山出て来まして、また八月二十日には、自衛隊の採土現場で山を掘抜いた排水用らしい隧道が発見されました。

これ等はみな、津奈木の歴史を調べる上で、貴重な資料となります。

そういえば、あんなもの、こんなものは、歴史上の資料になるかも知れない、思い当たるものがあるかも知れません。若しそういうものがございましたら、大小にかかわらず是非教育委員会に御連絡の程願ひ上げます。

例えば、矢じり、石斧、土器のかけら、古い文書、塚、古墳、遺跡、貝塚、言い伝え等。

御寄贈

ありがとうございます

このほど、左記のとおり、公民館に對し、圖書の御寄贈がありました。ここに厚意を謝し御披露申し上げます。

一書名
(一)竹熊宜孝著
(公立菊地養生園診療所々長)
「土からの医学」
(二)佐藤千里著
「隨筆集 綾の無か」
(三)緒方貞代氏
(二)佐藤千里氏

緒方貞代さんは、熊本県三角町で生れ、沖繩で教壇に立ち、結婚後上京、婦人解放運動の先駆者として活躍された人、現在八十五才。竹熊先生の「土からの医療」に共鳴され御寄贈になったもの。

佐藤千里さんは、現在水俣市洗切町の「佐藤病院」の院長さんで、本の表題「綾の無か」は「あやんなか」の意とか。

津奈木

国際児童年記念「熊本県少年の船」
いつてきました!!

発行所
津奈木公民館
津北郡津奈木町
電話(代表3111)番
編集 編集委員会
印刷所 旭印刷所
電話(水俣)③4101番

平和とは
ほんとうに
すばらしい

多くの人の心から選ばれ、不安と喜びを感じながら、出発の日をむかえました。でも不安は船中第一日にしてなくなり、同じ熊本の友ばかり、それぞれの方言で思いのままに語り合うことになり、本当にかわいそうなことだと思ひます。

三日目は、東南植物園の色々な花や昆虫を見たり、すばらしい色の海で泳ぐことができた。たくさんのお兄さんお姉さん、きびしく、そしてやさしい心にもふれ、本当にすばらしい体験でした。



バスガイドさんのお話し
その話の中に方言がありましたので紹介します。

「城」というかん字を「ぐすく」と言うそうです。その他「勢理客」を「いつちやく」と読みます。また、「大工廻」を「だくちやく」と読むそうです。あと一つは「今帰伝」というかん字を「なきしん」と読むそうです。その時ばかりは、沖繩はへんな読み方をするな～と思ひました。

琉球古来の伝統を秘める史跡と郷愁さそう三味線の音、そして戦争の激しさを物語る数々の戦跡、詩情豊かな風俗をもつ沖繩……。

今回 国際児童年を記念して「熊本県少年の船」に参加しました。



津小六年 新立和輝

八月三十日、まちどおしかった沖繩についた。那覇市は思ったよりビルが多くビックリした。バス十二台に分乗して糸満小学校に着き交歓会があり、方言を教えてもらった。ネズミのことを「チャーマン」と言うそう。それから戦跡を見学した。ひめゆりの塔、火の国の塔では熊本県の砂や水をまきました。

へんな読み方

津小五年 柳迫信也

ぼくは、八月二日から「少年の船」で選ばれた六百人の人と一緒に沖繩県に行きました。三角港から出発して、二十三日間も船にゆられ酔おうとする気持をおさえて三日の朝やっと沖繩に着きました。

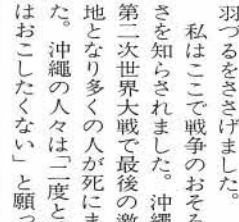
沖繩の車の台数は三十一万台、人口百七万人です。県庁のある那覇市の人口は二十九万人だそうです。

最後に、沖繩の屋根瓦に良く見かけるネコ(シーサー)のようなものがあります。それは口を開けたのと似たのがあります。口を開けているのは神様を迎え、口を閉じている方は神様をにがさない役目をしているそうです。



東南植物園を見学する団員達

東南植物園を見学する団員達。果、抽選の結果、偶然



青年女子バレークラブを

県が表彰

年間通してのスポーツ活動に対して

に大きな実績を残しています。文化活動も大変熱心で幅のある活動が続いています。

さらにスポーツの楽しさをみんなにという考えで婦人のスポーツ教室や町民体育祭(バレー)等にコーチをしたり各種行事の役員で協力と積極的にスポーツの発展に寄与しています。

さらに今後の発展を祈りた

川内地区が ファミリースポーツ2回目

日ごろの運動不足と身近な地域での対話づくりと川内地域の若ものが楽しいゲームやフリーテニス、卓球等に汗をながしました。

七月八日に本町で行われたファミリースポーツ指導者講習会に参加した川内の宮崎豊範体育指導員と西平久雄スポーツ指導員の両氏が呼びか



林田和幸監督以下バレークラブのメンバー



県知事より代表野崎貴保子さんへ

昭和五十四年度体力づくり運動推進県民大会が九月十二日県庁で開催されました。

各市町村長ほか体育団体らが多数集る中で、体力づくり県民会議長の沢田知事より県内のスポーツ優良団体に表彰状が贈られました。

本町では本年、年間を通してスポーツ活動をしている連合青年団の女子バレーボールクラブに贈られました。



初めてしました
フリーテニス



本町の十八才から二十九才までの男子が津奈木小体育館や運動場、町民広場で九月十一日ナイタースポーツテストに挑戦、からだの健康診断を受けた。全体的に結果は良好だったが、投げる力や持久力等に急に体力が落ちている人がいました。最後の体力相談も真剣でした。

よいしょ

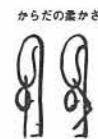
本町の十八才から二十九才までの男子が津奈木小体育館や運動場、町民広場で九月十一日ナイタースポーツテストに挑戦、からだの健康診断を受けた。全体的に結果は良好だったが、投げる力や持久力等に急に体力が落ちている人がいました。最後の体力相談も真剣でした。

10月28日 9時

体力づくり県民大会開催

体力づくり県民大会(水俣市)が本町で開催され、本町の男子が津奈木小体育館や運動場、町民広場で九月十一日ナイタースポーツテストに挑戦、からだの健康診断を受けた。全体的に結果は良好だったが、投げる力や持久力等に急に体力が落ちている人がいました。最後の体力相談も真剣でした。

あなたも挑戦 体力テスト



からだの強さ

- ① 体の前まげ
- ゆび先がつく (70歳)
- 4本のゆびがつく (50歳)
- てのひらがつく (30歳)
- 足くびを持って頭が足につく (20歳)



からだの強さ

- ② 腕立て伏せ (男)
- うでまげが3回できる (70歳)
- 8回できる (50歳)
- 10回できる (30歳)
- 12回以上できる (20歳)

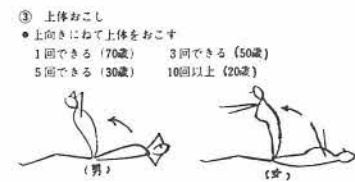
- ③ 開脚片足立ち
- 目をとじて立つ。足はひざのうしろをつける。
- 5秒 (70歳)
- 20秒 (50歳)
- 40秒 (30歳)
- 50秒 (20歳)

赤崎・平国で 婦人スポーツ教室

赤崎では卓球に引続きソフトボール教室が、平国ではバレーボール教室がナイターで20時間の予定。体協の指導員により両地区同じ日程で50名が参加。



基本から試合まで



からだの強さ

津奈木の芸術 (九)

文部大臣賞を受けた 藤本佐兵さんの書道

岡松 莊



文部大臣賞に輝く藤本佐兵氏の書

ることにした。

藤本佐兵氏はいま吉市に住んでいられたが、津奈木出身で藤本兵吾さんの弟さんである。

いままでは絵の紹介をしてきたが、たまたま藤本佐兵氏が日本総合書院で漢字の部で文部大臣賞を受けたのを機会に、その栄誉をお知らせしたかったが書道ととりあげられたことがあったが、その

古屋の漏り (二)

すると、そばに寝ていたばあさんが、いきなりしわがれ声で「そら雨漏りた...」と「爺さん」と言っ、甚七爺さんも、「ほんとに古屋ん漏りが凄まじいおとろしか」としみじみとした声で答えた。

津奈木民話

堀 一雄

俺よりもおとろしか雨漏りちゅうは、どげんワロかと思つていてところへ爺婆が、雨漏りのおそろしさを語り合っている。「爺さん爺さん、雨漏りの来れば、茶碗も鍋も桶爺さんが言うように、古屋ん

「ワアッ! 雨漏りの来たア」と夢中になって、上に乗りかかって来た馬盗人は、はね落たとそうともかく、馬盗人は、「しまったア! 雨漏りん上にひっちゃえた! 手をはなせば、雨漏りに捕まって殺される、力のあるかきり、しがみつくと、狼はこれをふり落とそうと、とんだり、跳ねたり、ころが

で駆け抜けて行くうち、馬盗人のあごが木の枝に引っかかった。アツと手をはなした馬盗人は、そのまゝ木の枝にぶら下った。狼はそれも見かねて、駆けつけて、とうとう何里もはなれた大関山まで来た時、さすがに疲れて、ぶ



名木紹介

きのきかん、二人の間に割り込むで
そわそわ、時計が気になる初デート
そわそわ、はじめてデートに誘われて
きのきかん、お茶はコップにつきなはり
凡九郎

肥後狂句 堀双岳選

きのきかん、盃でのむお茶がよか
きのきかん、刺身ばかり食われるか
拙者

きのきかん、新婚さんに長居して
そわそわ、座ってお茶とんのむがええ
双岳

次題 三度目、くれぐれも、四句以内
十月二十日まで、中央公民館へ